

環境設計

KANKYO DESIGN 20th Anniversary

20

Shape the future

年間
の軌跡

for the next 20 years

KANKYO DESIGN 20th Anniversary

Shape the future

for the next 20 years



contents

04-05

環境設計の20年

06-07

環境設計21年目の決意

皆さまの「未来計画」を「かたち」にする

株式会社環境設計 代表取締役

須崎 昭

08-09

環境設計20年目の証言

株式会社玉越 取締役会長

高木 一夫

矢作建設工業株式会社 取締役会長

藤本 和久

10-15

環境設計20年間の実績

[PROJECT]

16-17

環境設計20年間の業績

18-19

環境設計の仲間とともに

環境設計
20
年間の軌跡

2000年1月

人、建築、土地、それを取り巻く環境の
「調和」をテーマに掲げて創業。

20年を迎えた私たち「環境設計」は、
今、そして未来の環境を設計する覚悟、そして誇りを胸に、
さらなる進化を続けながら、
次の20年、30年を切り開いていきます。



当社のマークは四角と丸の形を
自然と社会に置き換えその融合
をモチーフにしたものです。

企業理念

- I 土地をテーマに社会の発展に貢献する
- II 夢ある仕事に挑戦し、自らの活路を拓く
- III 事業継続を社会的使命と考える

経営理念

- I 仕事を通して社員の人間力を高める
- II 仕事を通して社員及びその家族の最大幸福を目指す
- III 法令順守を前提に社会に受け入れられる企業であること

環境設計の20年

2000

2020

会社のあゆみ

●土地家屋調査士事務所を尾張旭市旭ヶ丘町の自宅に設立 (2000年1月1日)



柏井町に事務所移転



旭前町に事務所移転

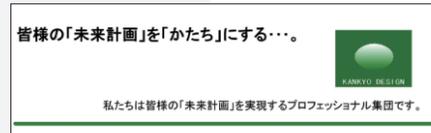
●有限会社環境設計を設立 (2004年7月2日)



ロゴマーク制定



当時の看板



キャッチフレーズ制定

●株式会社に改組 (2007年) 資本金1000万円

●宅地建物取引業許可 行政書士事務所開設 (2008年)



看板を設置 (2009年)

●一般建設業許可 (2009年)



東邦学園グラウンド完成式典 (2007年3月)

●測量業登録 (2010年)



会社案内パンフレット作成



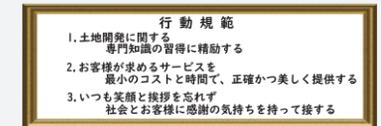
ホームページ開設 (2010年3月)

●資本金2000万円に増資 特定建設業許可 (2014年)



ホームページ改訂 (2014年4月)

●あいちWISH認証取得
あいち女性輝きカンパニー認証取得
愛知県ファミリー・フレンドリー企業に登録 (2020年)



行動規範制定



ホームページ改訂 (2018年4月)



入社式 (2019年4月)



関係各位からの感謝状

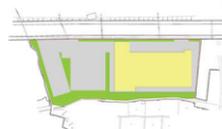


事務所を拡張 (2015年6月)



看板を新調 (2020年6月)

主な業務実績



2005年10月
共同電機(株) 春日井工場



2011年8月
佐川急便(株) 大府配送センター



2011年12月
アサヒ開発(株) 尾張旭長池上宅地造成



2007年3月
学校法人東邦学園 日進グラウンド



2011年11月
フットワークロジスティクス(株) 春日井配送センター



2013年5月
矢作建設工業(株)
名古屋市中川区富田開発事業



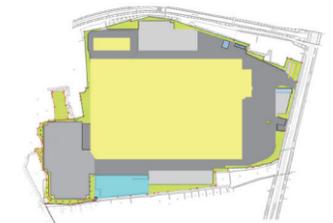
2012年3月
社会福祉法人フィロス
もりの風保育園



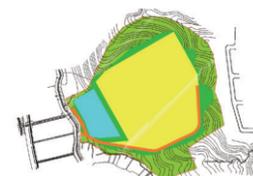
2014年3月
社会福祉法人和敬会
なごみの郷 蒲郡



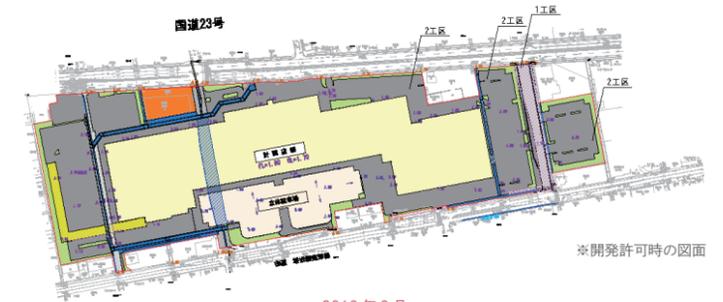
2017年1月
(株)ヤスナガ 小牧工場



2013年12月
(株)日立物流 中京物流センター



2015年9月
MTY(株) 可児市太陽光発電



2018年9月
イオンモール(株) イオンモール津南



2017年2月
(株)アルペン アルペンモールの店 守山下志段味店



2019年7月
愛知日野自動車(株) 一宮工場

2000

2020



Shape the future

皆さまの「未来計画」を「かたち」にする

株式会社環境設計 代表取締役 須寄 昭

社会の荒波の中で

2000年1月1日の創業。この日、世界はコンピュータの2000年問題が大きくクローズアップされましたが、杞憂に終わり、スタートしたばかりのコンピュータシステムが破綻せずほっとしたのを覚えています。

景気とか政治経済の状況を鑑みることなく創業しましたが、振り返ってみると、当時はバブル後の「失われた20年」が出口を見いだすことができずにいた時代でした。その年の大発会の日経平均株価は2万337円、その後2003年までの3年半の間、後退を続け株価はついに7,603円を記録。これが底値と言われています。

金融機関への公的資金投入により息を吹き返した景気は緩やかに持ち直しつつありましたが、2008年にはリーマン・ショックが襲ってきたのです。「百年に一度の金融危機」「日本経済は全治三年」とも表現されましたが、幸か不幸か当社の業績はまだ国内景気の渦の外にいたこともあって、幸い

にも株価変動の影響は受けずに済んだものと思っています。

2012年、第2次安倍内閣誕生とともに謳い上げられたアベノミクスのスタートダッシュが奏功し、安定政権のおかげで経済は順調に推移してきたと言えます。この流れのなかで当社の仕事も「景気」の影響が感じられるレベルへと少しずつシフトしてきた感があります。政権の安定も経済の浮揚には欠かせないものですし、評価は大きく分かれませんがトランプ政権の誕生も、こと短期的な経済分野においては結果を出したと言えるかもしれません。

山あり谷ありの20年ですが、創業20年目の大発会は2万3,204円。ほぼ当時の水準に落ち着いています。

新型コロナウイルス

ところが、です。2019年末に中国で発生したと言われる新型コロナウイルスのパンデミックにより、国内はもとより、世界中の人々がこの見えない外敵に翻弄される事態

になってしまいました。感染された方、重篤な症状に悩まされる方々、亡くなられた方々、すべての方々に慎んでお見舞いとお悔みを申し上げます。私たちは、人類に課せられた大きな試練として、この災禍を乗り越えなければなりません。病気そのものも、またそれによる経済への影響も、私たちの生命と財産を危険な状況に陥れる可能性があります。創業以来の危機とも言えるこの状況下、社会に必要な企業として「深刻になるよりも真剣に」向き合い、お客様と共に連携を緊密にしてどう対処するかを考えていきます。

変化に対応する柔軟な会社でありたい

世の中は常に変化しています。「経済は生きもの」とも言われます。金融システムの大きな変化や世界の政治経済システムの変化など社会的な要因に加え、大きな自然災害なども経済に大きな影響を与えます。今回のコロナ禍は想定外という捉え方をされることも多いと思いますが、私たち人類は否が応でもこの影響に巻き込まれます。誰もが想定していないから仕方がない、で済むものでもありません。世の中の医学者、疫学者の多くはこの事態を想定した研究をしていたと思います。台湾をはじめいくつかの国は政治判断としてその準備をしておりました。民間でもあのビル&メリンダ・ゲイツ財団（ビル・ゲイツ夫妻の設立した基金）は20年以上前から感染症の危機を訴え続け、300億ドル規模の基金を充てているということです。

「備えあれば憂いなし」準備するかしないかで大きな違いが生まれると思います。あらゆるものが変化するなかで、会社を健全に経営し続けることは難しいことです。創業時にはそれほど考えることもなく、また考える力もなかったのかも知れません。これまでにお世話になったお客様に対し、一度ならず永くお付き合いを続けていただくことの難しさも実感しています。

これからは、お客様を取り巻く環境も大きく変わってくるものと思われます。お客様から求められる会社であるために、お客様とその環境の変化を敏感に感じ取る力を養っ

ていかなければなりません。素直な心でものを見て、聴く力を磨き、すべてのことから学ぶ感受性を高め、そして発現していく力を培っていきたくと改めて強く意識しています。

大切に続けるもの

創業時に自分一人の意思で赴くまにやってきたことを、20人ほどの集まった仲間と共に進めていかななくてはなりません。これまでも感じたことですが、人は2人いれば相手を頼るもの…ということです。大企業のお客様には失礼ですが、大袈裟に言えば「すでにわが社にも大企業病が?!」とびっくりすることもあります。

このようなとき、創業者として自分の思いを伝えることの難しさを痛感します。早く一人前に育てなくてはと思う心とは裏腹に、なかなか気持ちが伝わらずに苛立ち、時には声も大きくなります。何とか自分の思いを分かってほしいと思うあまりのことですが、冷静に考えれば「相手は自分ではない」から100%は伝わるはずもありません。自分の子供よりずっと若い新人も入社しています。初めはそこまで考えませんでした。彼らが職業人として人生を当社で全うすることができるよう、彼ら自身がこれからの歴史をつくっていかなくてはなりません。そのために、自分は皮を遣す虎のようにDNAを遣さなくてはなりません。当社のDNAは何か。大切に続けなくてはならないものは何か？

お客様の求める「かたち」を実現するために、

誠心誠意仕事に向き合うこと。

そしてその過程と結果を自己実現の糧とすること。

環境設計はこれからもお客様の心を大切に「かたち」にしていきます。20年の経験を糧に、仕事を通して自分たちも成長していく努力を続けます。

これからの私たちに引き続きご期待いただけるよう、これからも前のめりになって、走り続けます。

傍を楽にするのが「働く」こと 遊びは飽きるけれど、商いは飽きないものです



株式会社玉越
取締役会長 **高木 一夫**

須寄氏とは1992年頃からの付き合いです。当時手がけていたゴルフ場開発が縁で、共にゴルフをする仲になりました。

環境設計の創業当初、私は経営しているパチンコ店の出店準備を進めていました。パチンコ店が広大な駐車場を備えた郊外型・大型化へと移行し始めている頃でした。多治見の土地を契約していたのですが、須寄氏の紹介で東郷の土地を見に行き、その場で決めました。多治見の土地のキャンセルは大きな損失でしたが、それ以上の準備をしていたからこそ、地区初の1,000台を有する東郷店をオープンできたのです。同業他社が辺鄙な場所と避けていた土地で大成功を収め、地域No.1になることができ、当社が本当に発展するきっかけとなりました。

商売では、新しい潮流に敏感でなければいけません。今は、銀行ではなくコンビニのATM利用が増えていたり、小売りではコンビニよりもドラッグストアが安価であったり、主役はいつの間にか交代しているのです。私が経営しているコインパーキングの精算もETCやPayPayで済ませられるんです。ちなみに民間でETCを導入したのは当社でした。遊びは飽きるが、絶えず進化している商いは飽きないものです。

2020年は全世界が新型コロナウイルスに翻弄されることになりました。これが収まったときは、今までと違った世界観が生まれてくると思います。働くことは、「傍を楽にする」こと、自分だけの金儲けではなく、社会貢献することによってお金を頂くのです。

これからの環境設計の新しい発展にエールを送ります。

周りに嫌な思いをさせない気配りが 大きな仕事を助けてくれることになるんです

須寄氏は、環境設計を創業される以前は矢作建設工業に在籍されていました。一緒に仕事をしたことはなかったのですが、開発案件を通じて顔だけは知っていました。

人生って顔に出るんですよ。経験を吸収できる人とできない人がいて、そういうのを吸収できる人は、顔つきって変わってくる。40、50になって本当に違う。本当はその歳に相応しい顔ってあって、30でも立派な顔に出ていて分かる人がいて、須寄氏に会った時はどのくらいの歳だったのか、若いなりに尖ったものを持っている印象でした。だからこそ、独立できたのでしょう。

どんな現場でも、常に考えないといけないことは、相手から良く思われようと思うんじゃなくて、相手に嫌な思いをさせないということ。立場が上になればなるほど下に見て物を言ってしまうがち、如何に相手に対して優しくできるかを慮ることが大切です。なによりも大切なのは聞き上手となって信用を得ること。これが態度や顔つきに表れるんです。

そういうことを積み重ねることが、仕事ができるってことにつながっていきます。自分一人で何かできるわけでもない、最終的に大きな仕事ができるかどうかというところでは、みんなが助けてくれるんです。リーダーは自分のためにたくさん仕事してくれる人を大事にするものです。

人に対して人に良く思われるということは、必ず自分に返ってくる。これからも環境設計には、いい顔つきの人材が多くいるようにしてもらいたいですね。



矢作建設工業株式会社
取締役会長 **藤本 和久**

2000

2020

ロジスティック

2005年10月、流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律（物流総合効率化法）が施行された。物流総合効率化法によって認定された物流関連施設の整備事業は、都市計画法で定める市街化調整区域内での開発行為が許可されるメリットにより、当社の発展に大きく寄与することになった。

最初の事例が2007年の日立物流中京物流センターの建設計画だった。当初、この事業は開発面積5.6ha、建物延べ床面積10万3,000㎡の巨大倉庫を建てる計画だったが、リーマン・ショックの影響を受けて建物規模を半減しての開業となった。その後の景気の回復にともない、2013年に残り半分の建物を建築、さらに周辺の土地を取得して従業員用の駐車場を増設、最終的には当初の計画を超える開発面積6.3haの事業として完成した。この経験が契機となり、多くの物流会社からの依頼が今日まで続くことになる。

物流総合効率化法は2016年に改正されたが、こうした物流業界の動向を多面的にサポートし、お客様の夢の実現に貢献していくことが我々の使命である。

物流総合効率化法認定事業



2006年9月
佐川急便(株)
豊田配送センター



2007年4月
(株)ヒガシトゥエンティワン
小牧配送センター



2009年1月
諸星運輸(株)
岩倉配送センター（I期）



2010年6月
(株)昌栄
小牧物流倉庫



2009年3月
(有)トキキャリアサービス
岩倉流通センター



2009年3月
伊藤忠食品(株)
大府配送センター



2011年11月
フットワークロジスティクス(株)
春日井配送センター



2011年8月
佐川急便(株)
大府配送センター



2015年12月
南星キャリアックス(株)
豊田物流センター



2015年8月
国分(株)
みよし流通センター



2015年6月
新日本流通サービス(株)
小牧物流倉庫



2015年3月
(株)内山
弥富物流施設



2015年2月
諸星運輸(株)
岩倉配送センター（II期）



2013年12月
(株)日立物流
中京物流センター



2016年7月
丸久運輸(株)
岩倉流通センター



2016年5月
名古屋陸送(株)
弥富物流施設



2016年3月
鈴与(株)
小牧物流センター



2019年11月
中日産業(株)
豊明配送センター



2018年3月
福岡運輸(株)
一宮物流センター



2017年6月
センコー(株)
新小牧PDセンター



2017年4月
センコー(株)
四日市第2PDセンター



2017年1月
(株)カネス工
稲沢物流倉庫

2000

2020

2000

2020

生産設備

市街化調整区域で開発行為の許可を得るには、地域振興のための工場等で技術先端型の業種に該当すると認められることが必要となる。どの事例においても、企業のトップシークレットにかかわる内容であり、高度な専門的知識を説明するための許可申請資料作成には多大な労力を要することになる。

こうした資料作成も当社の業務としてサポート、お客様の夢を実現していくための努力の積み重ねが多くの実績に結びついている。

◆ 技術先端型業種に認定された工場



2006年11月
㈱アルバック
春日井工場



2005年10月
共同電機㈱
春日井工場



2008年9月
オオサキメディカル㈱
岩倉工場



2011年3月
㈱栗本工業
岩倉工場



2013年4月
㈱東和ダイス製作所
尾張旭本社第二工場

技術先端型業種認定の事例

オオサキメディカル	脱脂綿・ガーゼなどの医療用品製造の過程
栗本工業	燃料電池など低公害車、低燃費車等に用いられる動力機関・駆動装置・部品の試作研究
ヤスナガ	超耐熱合金によるエンジンプラグの製造
名神製作所	次世代自動車の排気効率向上にベルマウス型触媒コンバータの開発
野田プラスチック精工	iPS細胞の研究に必要な不可欠な細胞分離装置をマイクロ流路を使って分析のスピード化、低コスト化を実現する樹脂加工技術



2015年3月
㈱オンテック
岩倉工場



2017年1月
㈱ヤスナガ
小牧工場



2018年12月
神村電機工業㈱
春日井本社工場



2019年7月
愛知日野自動車㈱
一宮工場



2013年8月
ビー・エス・シー㈱
尾張旭工場



2016年8月
㈱名神製作所
岩倉工場



2017年8月
野田プラスチック精工㈱
大口工場



2019年2月
㈱カネス工
豊田工場

商業施設

2012年5月に許可となった名古屋市中川区の開発は、市街化区域に取り残された農地8.3haに4店舗の商業施設と分譲宅地75区画となる複合施設の造成であった。

当社はこの事業に関する用地の売買・交換契約および土地登記業務全般も担当、この経験はその後のプロジェクトに活かされることになった。



2002年4月
㈱玉越
東郷店駐車場



2004年3月
㈱玉越
本店道路付替え



2005年12月
㈱玉越
春日井店駐車場



2007年9月
㈱フィールコーポレーション
上田薬店



2013年5月
矢作建設工業㈱
名古屋市中川区富田開発事業



2017年5月
㈱ナガイスポーツ
ベースボールパークナガイ



2018年10月
大成開発㈱
イオンモール津南駐車場



2017年2月
㈱アルペン
アルペンモール守山下志段味店



2018年9月
イオンモール㈱
イオンモール津南

2000

2020

2000

2020

宅地開発

2013年、当社初の自社事業として南原山宅地開発を行った。結果として、即完売となったが、宅地開発は立地条件、景気動向、底地・宅造費などの原価、売値設定など多くの要因を鑑みて事業計画を立てる必要があった。

今後、事業の柱の一つとして取り組みを本格化させていく。



2009年1月
矢作地所(株)
春日井大手宅地造成



2011年12月
アサヒ開発(株)
尾張旭長池上宅地造成



2012年4月
日本電話施設(株)
NDS タウン日進岩崎宅地造成



2013年4月
尾張旭南原山宅地造成



2014年12月
(株)春日井ハウジング
春日井大留宅地造成



2019年12月
シー・クエンス(株)
瀬戸進陶・小金宅地造成



2019年2月
イデアコンサルタント(株)
日進浅田宅地造成

福祉施設

高齢化社会の到来により、医療・介護サービスなど社会福祉施設の整備拡充がますます求められている。こうした施設の市街化調整区域での開発許可基準には、審査会基準第10号有料老人ホーム、同第13号介護老人保健施設、同第18号社会福祉施設等々があり、これらの福祉関連施設の建設は、さまざまな基準が設けられている。

今後、多様化するニーズに対して、最適な施設を提案していくことで、事業者と利用者の夢の実現に役立てていきたい。



2014年10月
社会福祉法人愛知慈恵会
西御堂の里 一宮



2014年3月
社会福祉法人和敬会
なごみの郷 蒲郡



2015年11月
社会福祉法人一期一会福祉会
一期一会荘 岩倉



2016年6月
社会福祉法人愛媛会
あいさんハウス 海津



2018年2月
医療法人社団ちとせ会
葵の園 長久手

その他

2009年に建設業許可を取得した当社は、旭サナックからの駐車場排水工事の開発許可申請業務を手始めに、2011年にはアサヒ開発の長池上宅地造成工事の施工を受注した。その後、栄進、大府サンキの駐車場整備工事の施工、可児の太陽光発電所工事など、開発に続けて、工事の施工管理も受注し、売上げ増に貢献した。



2007年3月
学校法人東邦学園
日進グラウンド



2012年3月
社会福祉法人フィロス
もりの風保育園



2015年4月
(株)シーエナジー
田原市太陽光発電



2015年9月
MTY(株)
可児市太陽光発電



2015年4月
(株)栄進
尾張旭駐車場



2017年8月
アプリエンジニアリング(株)
大府駐車場

☀ 太陽光発電

電力の買取価格の引下げから、一時期ほどの注目度は減少した太陽光発電。再生可能エネルギーの利用は今後も必要性が高まることを考慮し、土地活用の一つの手段でもある。

🚗 駐車場

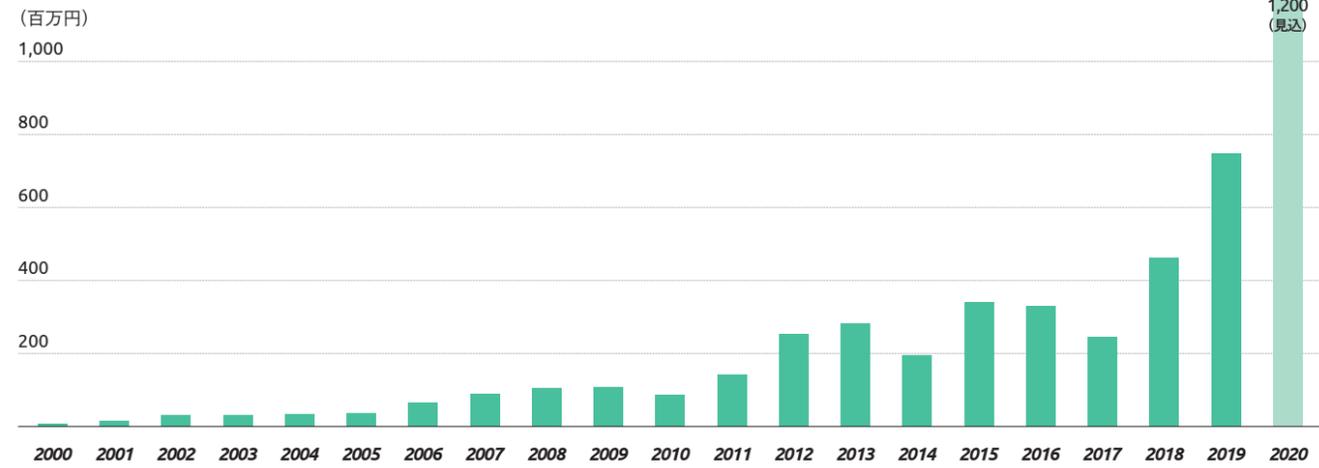
市街化調整区域の農地を駐車場として土地利用するためには、農地法第4、5条に基づく転用許可が必要になる。それには立地基準、一般基準を満たすための申請書類の作成、農業委員会との事前交渉など、多くの手続きが必要となっている。

2000

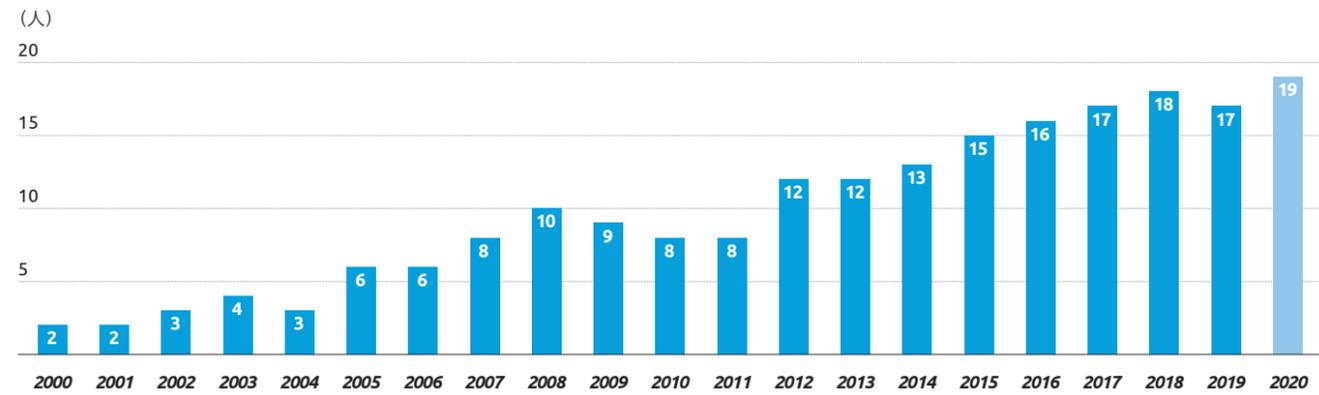
2020

環境設計20年間の業績

売上高の推移

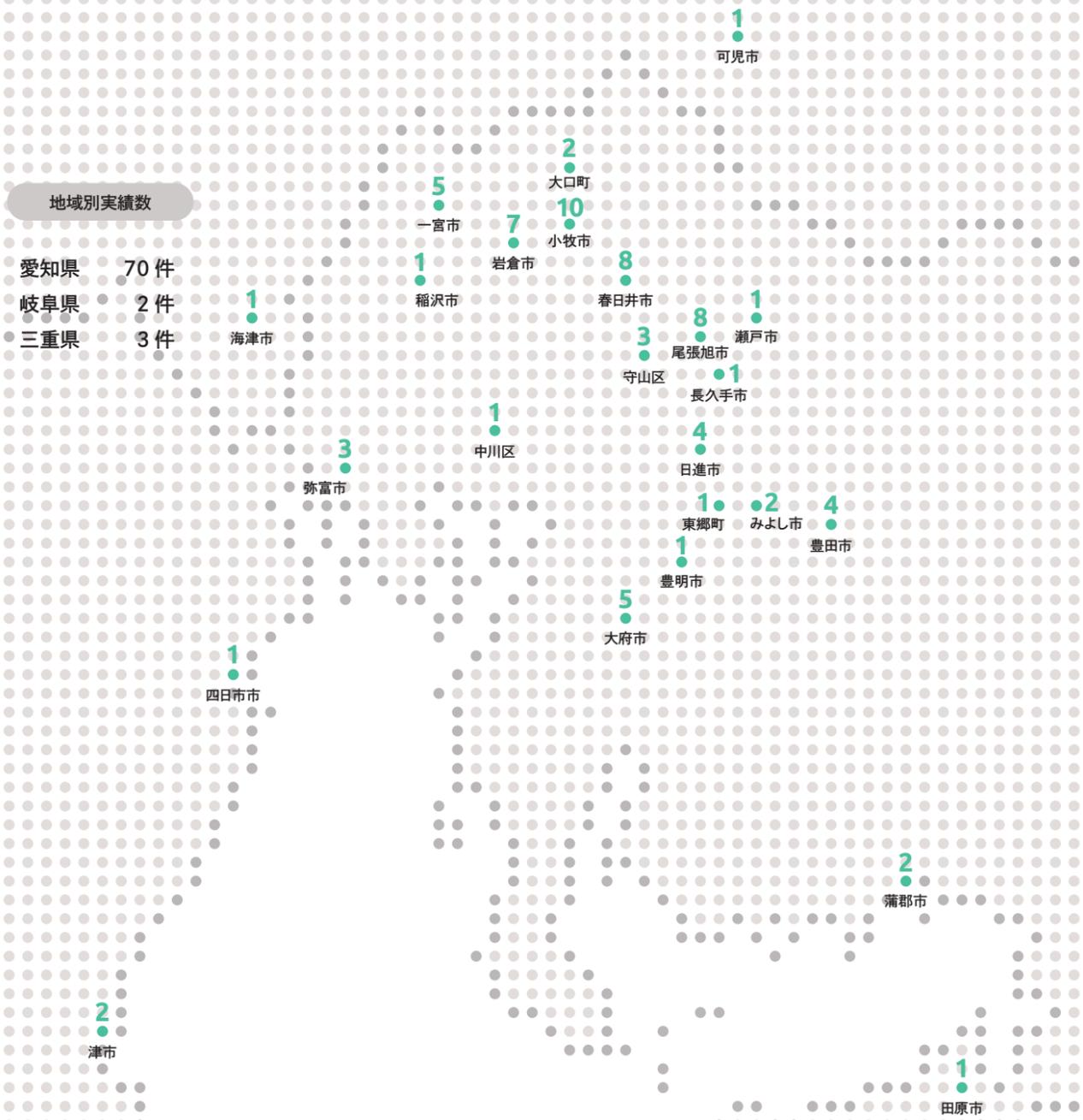


従業員数の推移



地域別実績数

- 愛知県 70件
- 岐阜県 2件
- 三重県 3件



環境設計の仲間とともに



2007
高山

2015
福岡



2008
伊勢



2018
京都



2008
ソフトボール
大会



2019
箱根





編集後記

20周年誌事業は、役員による突然の招集から始まりました。

「会社が来年で20周年なので、社史を作ろうと思っている」

我々は、昨年4月に入社したばかりの社会人1年目の若造です。そんな者達に、社史編纂が務まるのか、不安を抱えてスタートしたのです。しかし、双編様、上司、各先輩方の助力を得て、ここに発刊の運びとなりました。ご尽力してくださった各方面の方々に絶大なる感謝を申し上げます。

思えばこの社史編纂をきっかけに、当社がこの20年をどのように歩んできたのかを、携わった案件を通して知ることができました。また、代表をはじめ社員の過去・現在の想いにも触れ、自分達が未来に向け、どうあるべきかを考える機会にもなりました。

最後に、社会人として日も浅いなか、このような貴重な経験をさせていただいたことに感謝申し上げます。

2020年6月

社史編纂委員 小久保 和弥・笹尾 匡哉

環境設計 20年間の軌跡

Shape the future for the next 20 years

2020年6月発行

編集・発行 株式会社環境設計
愛知県尾張旭市旭前町1丁目6番地5

制作協力 有限会社双編集

印刷 中部印刷株式会社

